

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

総合計画体系	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんなで元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木洋治
	施策	17	生活困窮世帯の自立支援			所属課	子育て支援課	担当者名	境 真奈美
	基本事業	56	経済的支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2154
					法令根拠	合志市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
	1	3	2	1	10550			コスト削減優先度評価結果	11

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度) ~ (年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
ひとり親家庭の医療費につき、一部負担金を支払った場合、その自己負担金の2/3を助成
【業務の流れ】
(1) 受給資格証の交付業務 ①受給資格証交付申請書の受付 ②申請書の審査 ③資格証の交付認定、却下の起案 ④資格証交付台帳記載 ⑤資格証の交付 ⑥その他申請却下通知
(2) 給付申請処理業務 ①助成金申請書の受付 ②申請書、領収書等の審査 ③助成金の支払一覧の作成、起案 ④支出負担行為の作成、決裁 ⑤支出命令書、口座振込み書の作成、決裁 ⑥清算書の作成決裁
(3) 受給資格の有無確認加算業務 ①受給資格証等の更新申請通知 ②更新申請書受付 ③更新申請書審査 認定有り ④受給資格証の発行
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ひとり親家庭の医療費につき、一部負担金を支払った場合、その自己負担金の2/3を助成。毎月5日までに請求されたものを審査し、28日に口座へ助成金を振り込む。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同様
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 受給資格者数 人 イ 助成件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・母子、父子家庭で20歳未満の児童を養育している者(親) ・児童は18歳に達する日以後の最初3月31日までのひとり親家庭の児童	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 受給資格申請者数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 医療費に係る経済的な負担軽減を図り、ひとり親家庭の生活安定と福祉の向上ができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 助成をした件数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 最低限の生活を維持できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 生活保護ではない公的扶助を受けている世帯数(=準要保護世帯数) 世帯 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	3,587	3,941	4,800	4,109	4,800	4,800		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,836	4,276	4,863	4,246	4,800	4,800		4,800
	(A) 事業費計	千円	7,423	8,217	9,663	8,355	9,600	9,600	9,600		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	人	8	8	9	9	9	9	9		
正規職員従事人数	人	8	8	9	9	9	9	9			
延べ業務時間	時間	720	620	700	695	700	700	700			
(B)人件費計	千円	2,858	2,468	2,786	2,766	2,786	2,786	2,786			
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,281	10,685	12,449	11,121	12,386	12,386	12,386			
活動指標	人	476	462	520	531	520	520	520	目 標 合 計 値 画 22 年 度		
対象指標	人	515	528	540	531		540	540			
成果指標	件	3421	4111	3400	4510	3400	3400	3400			
上位成果指標	世帯	206	192	211		212	214	214			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
母子家庭等の医療費の一部を助成することにより、母子家庭等の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とし、旧合志町では昭和60年に母子家庭等医療費の助成に関する条例が制定される。のち平成15年に父子家庭も対象となる。旧西合志町では同じ目的で昭和57年に条例制定し開始となった。合併後は旧合志
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成19年度から熊本県母子家庭医療費助成事業費補助金交付の対象が母子家庭のみではなく父子家庭も加わった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図「医療費に係る経済的な負担軽減を図り、ひとり親家庭の生活安定と福祉の向上ができる」により「経済的負担の軽減を図れる」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図り、生活安定と福祉の向上を目指している
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 合志市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例に基づき、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 医療費の助成に関する条例に基づき実施しており、現状で適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ひとり親家庭の医療費に係る経済的負担が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 小学4年生以上の児童と、ひとり親家庭の母親父親への医療費助成制度は無い。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現状で適切である
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 助成金請求の仕方について、受給資格者に徹底することで、支払い処理の業務時間を短縮できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 一般世帯にも広報等で制度について周知、受給資格者へも8月の更新申請で周知しており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下																	
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 請求の仕方について受給者に周知徹底する。助成金請求受付時に資格、日付等の確認を行う。																		

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)